

《球磨川》「水防災タイムラインカンファレンス2018 in 球磨川」開催 ～水害タイムラインの先進自治体が集まり全国に情報発信～

- 水害タイムラインの先進地の自治体が一室に集まり、現状の取組や課題を議論しました。
- 3日目(2/9)のシンポジウムでは、全国各地から首長(9名)が参加したパネルディスカッションが行われ、導入の意義や運用等について意見交換がなされました。
- 最後に「情報交換のネットワークづくり」、「命を守るソフト対策の充実を図る」などを示した、球磨川宣言を採択しました。

開催概要

- 開催日時 平成30年2月7日(水)～9日(金)
(2月9日 一般参加のシンポジウム)
- 開催場所 球磨村石の交流館・人吉市カルチャーパレス
- 共催 熊本県人吉市、球磨村
NPO環境防災総合政策研究機構
- 後援 国土交通省
- 内容 ワークショップ、基調講演、パネルディスカッション等
- 参加者 約200名(2月9日シンポジウム)



2/7～8

自治体などの実務担当者による
取組報告やワークショップ等



ワークショップ



話題提供 竹島河川部長

2/9 シンポジウム(一般参加)

基調講演



国土交通省 河川環境課
河川保全企画室
宮本企画専門官

パネル ディスカッション

(1部)
コーディネーター
松尾客員教授



(左から) 川上平取町長(北海道)、西田紀宝町長(三重県)、岩崎大豊町長(高知県)、
柳詰球磨村長(熊本県)、弟子丸福岡管区気象台長、貴名八代河川国道事務所長

(2部)



コーディネーター
山崎国土館大学教授
(元NHK解説委員)



(左から) 松岡人吉市長(熊本県)、宮本諫早市長(長崎県)、藤原貝塚市長(大阪府)、
古川多治見市長(岐阜県)、前田滝川市長(北海道)、竹島河川部長



東京大学大学院
情報学環
松尾客員教授

球磨川宣言

